

2. 地域科学部・地域科学研究科

(1) 地域科学部・地域科学研究科の研究目的と特徴	・ ・	2-2
(2) 「研究の水準」の分析	・ ・ ・ ・ ・	2-3
分析項目Ⅰ 研究活動の状況	・ ・ ・ ・ ・	2-3
分析項目Ⅱ 研究成果の状況	・ ・ ・ ・ ・	2-6
【参考】データ分析集 指標一覧	・ ・ ・ ・ ・	2-7

(1) 地域科学部・地域科学研究科の研究目的と特徴

1. 地域科学部・地域科学研究科では、地域を基盤とした社会科学・自然科学・人文学の学際的な研究を行っている。法学、経済学、社会学、地理学、歴史学、人類学などの社会科学諸分野、物理学、化学、生物学、建築心理、交通計画、地理情報システムなどの自然科学諸分野、文学、言語学、哲学などの人文学の諸分野における専門的な研究とともに、まちづくりや環境問題、地域文化などをめぐる学際的な研究を進めている。
2. 地域科学部の発足以来、『地域学への招待』（1999年/世界思想社）、『岐阜における地域経済の研究』（2006年/十六銀行・岐阜大学産学連携地域経済活性化研究会）、『人口減少時代の地方都市再生』（2007年/古今書院）、『中山間地域は再生するか』（2008年/あおでみあ書齋院）、『白川郷』（2004年/ナカニシヤ出版）『文化と風土の諸相』（2000年/文理閣）『文化的近代を問う』（2004年/文理閣）『なぜ、市場化に違和感をいだくのか？』（2014年/晃洋書房）など、地域科学部を中心とした教員による多くの共著を刊行して大きな成果を挙げている。
3. 第3期中期計画期間においては、岐阜市教育委員会、岐阜市史編さん専門委員会、及び執筆者に地域科学部の現役・OBの教員が加わった『岐阜市史現代編Ⅱ』（2019年）が刊行されて、地元の岐阜市に関する学際的な成果を挙げることができた。
4. こうした研究成果は、岐阜市、岐阜県内各地における地域づくりにも活かされており、各種の行政の委員会の委員、市民活動などにおける社会的な貢献としても高く評価されている。

(2) 「研究の水準」の分析

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

<必須記載項目1 研究の実施体制及び支援・推進体制>

【基本的な記載事項】

- ・ 教員・研究員等の人数が確認できる資料（別添資料 4202-i1-1）
- ・ 共同利用・共同研究の実施状況が確認できる資料
（別添資料 なし）
理由：共同利用・共同研究拠点がいないため。
- ・ 本務教員の年齢構成が確認できる資料（別添資料 4202-i1-2）
- ・ 指標番号 11（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目2 研究活動に関する施策／研究活動の質の向上>

【基本的な記載事項】

- ・ 構成員への法令遵守や研究者倫理等に関する施策の状況が確認できる資料
（別添資料 4202-i2-1～4202-i2-5）
- ・ 研究活動を検証する組織、検証の方法が確認できる資料
（別添資料 4202-i2-6～4202-i2-7、4202-i2-8【非公表】）
- ・ 博士の学位授与数（課程博士のみ）（入力データ集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目3 論文・著書・特許・学会発表など>

【基本的な記載事項】

- ・ 研究活動状況に関する資料（総合文系）
（別添資料 4202-i3-1）
- ・ 指標番号 41～42（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

(特になし)

＜必須記載項目4 研究資金＞

【基本的な記載事項】

- ・ 指標番号 25～40、43～46 (データ分析集)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

(特になし)

＜選択記載項目A 地域連携による研究活動＞

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○ 岐阜市のこれまでの歩みを振り返り、市民が地域に対する理解を深め、郷土愛を醸成する基盤とし、さらなる市民との協働のまちづくりと文化の向上に資するために、昭和50年から約40年間の市史を編さんした『岐阜市史現代編Ⅱ』(2019)において、岐阜市史編さんに関する専門的な事項についての調査及び審議を担当する「岐阜市史編さん専門委員会」の委員長や委員として本学部教員が、「地域のくらしと経済」、「市民主役のまちづくり」等を主題に、柳ヶ瀬の浮き沈みやまちづくりの移り変わりの調査を実施するなど中心的な役割を果たした。また、執筆に関しても本学部の教員7名が参加し、編さん専門委員会の委員長の他、まちづくり、経済、農業、環境について分担執筆した(別添資料4202-iA-1)。^[A.1]

＜選択記載項目C 研究成果の発信／研究資料等の共同利用＞

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○ 本学部の附属施設である地域資料・情報センターにおいて、教育学部郷土博物館の古文書目録(約4万点)とニュースレターの発行、地域情報のウェブ(Facebook)(FBアップ回数:70回、フォロワー数:173名、リーチ数:10,898

人、紹介図書数：133 冊、大学関係紹介情報数：12 回※2018.1.12 以降）上での情報発信を行った。岐阜大学創立 70 周年記念事業である学術アーカイブ構想（大学が長い時間をかけて生み出してきた様々な資料の整理・保管機能をより一層強化し、キャンパスをアーカイブ化する学術コアとサテライトを設置・整備する構想）による取組の一環として、同センターが人文系資料サテライトと位置づけられ、地域の様々な文章系資料を収集・保管・活用するとともに、教育学部郷土博物館の人文系資料等のサポートも含め、資料整理の作業を進めている（別添資料 4202-iC-1～4202-iC-2）。[C.1]

<選択記載項目 D 総合的領域の振興>

【基本的な記載事項】

（特になし）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 第 25 回「国立大学新構想学部 教育研究フォーラム」（2019 年 9 月 19 日・20 日）では、シンポジウム「新しいかたちのリベラル・アーツとリテラシー—地域・国際・情報・環境などの視点から」をテーマとして開催した。本シンポジウムで東京大学・岐阜大学・岩手大学・三重大学の報告と議論が行われ、新構想学部が直面している逆境を見据えた上で、研究教育において「新しいかたちのリベラル・アーツとリテラシー」を築き上げ、維持していくためのこれからを考える一助となった（別添資料 4202-iD-1）。[D.1]

<選択記載項目 E 学術コミュニティへの貢献>

【基本的な記載事項】

（特になし）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 国立 10 大学の地域学系学部が参加する「令和元年度地域学系大学・学部等連携協議会」（〔実施当番校〕愛媛大学、2019 年 9 月 26・27 日開催）において、2019 年度に本学が大学機関別認証評価を受審した際、本学部が「教育の内部質保証体制」を整えたことを踏まえて、本学部の質保証の体制の紹介を行うとともに、地域学系学部における質保証の評価項目についての提案を行なった。この報告と提案は、他の地域学系学部にとって、質保証の構築という点において、とても有益な参考情報となった（別添資料 4202-iE-1）。[E.1]

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

＜必須記載項目1 研究業績＞

【基本的な記載事項】

- ・ 研究業績説明書

(当該学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準)

地域科学部は、地域を基盤とした社会科学・自然科学・人文学にまたがる学際的な研究を進めている。著書・研究論文については、学会や書評で高い評価を得たものを学術的意義があるものとしている。地域社会への貢献については、環境・地域づくりなどの視点から社会、経済、文化的意義があるものを取り上げている。グローバル化した現代社会と地域自身の国際化を見据えて、人文科学・社会科学・自然科学それぞれの研究の特性を生かし、かつそれら諸科学の学際的・共同的研究を進めるという本学部・研究科の目的に沿い、地域経済や諸産業の活性化、地域の人的資源の有効活用、コミュニティの確立、地域福祉の充実、地域文化の再興、地域の国際化の個々の諸要因の探究、環境の科学的基礎の解明といった領域に貢献している業績の内、学会賞の受賞を初めとして関係学会での評価の高い業績、書評誌などで確認される社会的・文化的評価の高い業績、学会水準で学際的にも高く評価される業績を、研究業績の選定の判断基準とした。

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

(特になし)

【参考】データ分析集 指標一覧

区分	指標 番号	データ・指標	指標の計算式
5. 競争的外部 資金データ	25	本務教員あたりの科研費申請件数 (新規)	申請件数(新規)／本務教員数
	26	本務教員あたりの科研費採択内定件数	内定件数(新規)／本務教員数 内定件数(新規・継続)／本務教員数
	27	科研費採択内定率(新規)	内定件数(新規)／申請件数(新規)
	28	本務教員あたりの科研費内定金額	内定金額／本務教員数 内定金額(間接経費含む)／本務教員数
	29	本務教員あたりの競争的資金採択件数	競争的資金採択件数／本務教員数
	30	本務教員あたりの競争的資金受入金額	競争的資金受入金額／本務教員数
6. その他外部 資金・特許 データ	31	本務教員あたりの共同研究受入件数	共同研究受入件数／本務教員数
	32	本務教員あたりの共同研究受入件数 (国内・外国企業からのみ)	共同研究受入件数(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	33	本務教員あたりの共同研究受入金額	共同研究受入金額／本務教員数
	34	本務教員あたりの共同研究受入金額 (国内・外国企業からのみ)	共同研究受入金額(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	35	本務教員あたりの受託研究受入件数	受託研究受入件数／本務教員数
	36	本務教員あたりの受託研究受入件数 (国内・外国企業からのみ)	受託研究受入件数(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	37	本務教員あたりの受託研究受入金額	受託研究受入金額／本務教員数
	38	本務教員あたりの受託研究受入金額 (国内・外国企業からのみ)	受託研究受入金額(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	39	本務教員あたりの寄附金受入件数	寄附金受入件数／本務教員数
	40	本務教員あたりの寄附金受入金額	寄附金受入金額／本務教員数
	41	本務教員あたりの特許出願数	特許出願数／本務教員数
	42	本務教員あたりの特許取得数	特許取得数／本務教員数
	43	本務教員あたりのライセンス契約数	ライセンス契約数／本務教員数
	44	本務教員あたりのライセンス収入額	ライセンス収入額／本務教員数
	45	本務教員あたりの外部研究資金の金額	(科研費の内定金額(間接経費含む)＋共同研 究受入金額＋受託研究受入金額＋寄附金受入 金額)の合計／本務教員数
	46	本務教員あたりの民間研究資金の金額	(共同研究受入金額(国内・外国企業からのみ) ＋受託研究受入金額(国内・外国企業からのみ) ＋寄附金受入金額)の合計／本務教員数